

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <http://rkb.jp/holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 (氏名) 井上 良次
 (氏名) 古賀 輝
 TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,190	3.4	649	148.3	730	120.4	441	21.9
29年3月期第1四半期	5,983	5.2	261	913.3	331	279.6	361	383.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 566百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	201.31	—
29年3月期第1四半期	165.06	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	44,483	32,012	70.5
29年3月期	45,722	31,682	67.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 31,339百万円 29年3月期 31,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	90.00	90.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,360	1.1	890	26.4	960	22.9	560	△25.5	255.42
通期	26,770	0.2	2,230	2.6	2,350	1.9	1,440	△19.1	656.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	2,240,000 株	29年3月期	2,240,000 株
30年3月期1Q	47,504 株	29年3月期	47,504 株
30年3月期1Q	2,192,496 株	29年3月期1Q	2,192,997 株

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境などは改善傾向にあり、緩やかな景気回復の状況が続いております。

そのような状況の中、主に放送事業、システム関連事業収入が前年を上回りました。また営業費用についても、システム関連子会社において退職金制度変更に伴い費用が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は61億90百万円(前年同期比 3.4%増)で増収となり、営業利益は6億49百万円(前年同期比 148.3%増)、経常利益は7億30百万円(前年同期比 120.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億41百万円(前年同期比 21.9%増)でいずれも大幅な増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入43億32百万円(前年同期比 3.9%増)、営業利益4億47百万円(前年同期比 21.2%増)となりました。

テレビ部門は、収入38億46百万円(前年同期比 5.0%増)となりました。タイム収入は8.6%増、スポット収入も2.9%増となりました。業種別では、食品、化粧品・洗剤・トイレタリなどが落ち込んだものの、輸送機器、住宅・建材などが伸びました。

ラジオ部門は、収入4億85百万円(前年同期比 4.4%減)となりました。制作収入はイベント等の実施により8.5%増となったものの、スポット収入が13.1%減、タイム収入が0.6%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入9億73百万円(前年同期比 22.5%増)、営業利益2億1百万円(前年同期は営業損失1億39百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、自治体向けソフトウェア開発の受注および機器販売が増加し、増収となりました。利益面では、退職金制度変更に伴い費用が減少したことにより、大幅な営業利益を確保しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億66百万円(前年同期比 2.9%増)、営業利益2億57百万円(前年同期比 0.8%減)となりました。

④その他事業

その他事業は、収入6億17百万円(前年同期比 18.7%減)、営業損失33百万円(前年同期は営業利益38百万円)となりました。

催事部門では、昨年に引き続き福岡県護国神社で葉加瀬太郎プロデュースの野外音楽イベント「福岡音楽祭音恵ONKEI2017」などを開催し、多くの入場者を集めました。このほか、嘉穂劇場で「市川海老蔵古典への誘い」などを開催しましたが、前年同期のような大型の催物がなく減収となり、利益面でも営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億39百万円減少し、444億83百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億8百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が14億32百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ15億70百万円減少し、124億70百万円となりました。これは主に、未払法人税等が5億50百万円、退職給付に係る負債が4億4百万円、未払消費税等が3億58百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加し、320億12百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を4億41百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成29年5月19日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,938	7,903
受取手形及び売掛金	4,180	2,748
有価証券	9	9
たな卸資産	115	160
その他	3,212	3,420
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,456	14,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,922	6,863
機械装置及び運搬具(純額)	966	898
土地	13,320	13,320
その他(純額)	1,173	1,127
有形固定資産合計	22,382	22,210
無形固定資産	265	254
投資その他の資産		
投資有価証券	5,318	5,526
その他	2,299	2,249
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,616	7,775
固定資産合計	30,265	30,240
資産合計	45,722	44,483
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366	210
未払法人税等	757	207
その他	3,582	3,123
流動負債合計	4,706	3,541
固定負債		
退職給付に係る負債	5,893	5,489
その他	3,440	3,439
固定負債合計	9,334	8,928
負債合計	14,040	12,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	29,354	29,563
自己株式	△182	△182
株主資本合計	29,736	29,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,441	1,511
退職給付に係る調整累計額	△129	△116
その他の包括利益累計額合計	1,312	1,394
非支配株主持分	633	673
純資産合計	31,682	32,012
負債純資産合計	45,722	44,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,983	6,190
売上原価	3,633	3,494
売上総利益	2,349	2,695
販売費及び一般管理費	2,088	2,045
営業利益	261	649
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	60	64
その他	10	16
営業外収益合計	71	81
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	1	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	331	730
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
ゴルフ会員権評価損	-	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	330	728
法人税等	△25	244
四半期純利益	355	484
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	361	441

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	355	484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△419	69
退職給付に係る調整額	19	12
その他の包括利益合計	△399	82
四半期包括利益	△44	566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36	523
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,169	795	258	759	5,983	—	5,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	10	210	356	622	△622	—
計	4,214	806	469	1,115	6,606	△622	5,983
セグメント利益又は損失(△)	369	△139	259	38	527	△265	261

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入67百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△332百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,332	973	266	617	6,190	—	6,190
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	13	209	352	627	△627	—
計	4,384	987	475	970	6,817	△627	6,190
セグメント利益又は損失(△)	447	201	257	△33	873	△224	649

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△224百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、当社における子会社からの収入66百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,696	78.0	3,881	81.1	185	5.0
ラジオ収入	518	10.9	502	10.5	△16	△3.1
その他の収入	525	11.1	400	8.4	△124	△23.7
合計	4,740	100.0	4,784	100.0	44	0.9